

**製品名: CHST2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08787**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHST2
別名	CHST2; GN6ST; Carbohydrate sulfotransferase 2; Galactose/N-acetylglucosamine/N-acetylglucosamine 6-O-sulfotransferase 2; GST-2; N-acetylglucosamine 6-O-sulfotransferase 1; GlcNAc6ST-1; Gn6ST-1
遺伝子 ID	9435.0
SwissProt ID	Q9Y4C5
免疫原	抗血清はヒト CHST2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

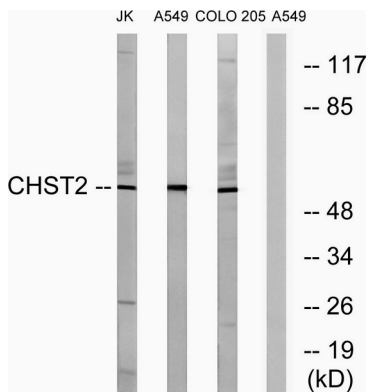
**背景**

この遺伝子座は硫酸基転移酵素タンパク質をコードしています。この酵素は非還元性 N-アセチルグルコサミン残基の硫酸化を触媒し、6-スルホシアリルイス X 抗原の生合成に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2011年8月]、注意: Met-1 と Met-48 のどちらが開始因子であるかは不明です。機能: N 結合型糖鎖上のケラタン様構造内、および最終的に L-セレクチンリガンドとして機能するムチン関連糖鎖内の非還元性 N-アセチルグルコサミン (GlcNAc) 残基の 6 位への硫酸基転移を触媒します。L-セレクチンリガンドは高内皮細胞 (HEV) に存在し、炎症部位におけるリンパ球のホーミングにおいて中心的な役割を果たしています。L-セレクチンリガンドであるシアリル 6-スルホルイス X の生合成およびリンパ球のパイエル板へのホーミングに関与する。O-結合型糖鎖に対しては活性を示さない。基質特異性は細胞内局在によって影響を受ける可能性がある。オリゴ糖鎖の末端 (非還元末端) の GlcNAc 残基を硫酸化する。誘導: サイトカイン活性化によりアップレギュレーションされる。オンライン情報: GlycoGene データベース、類似性: 硫酸基転移酵素 1 ファミリーに属する。Gal/GlcNAc/GalNAc サブファミリー。サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。ホモ二量体形成は酵素活性に必須ではない。組織特異性: 広く発現している。骨髄、末梢白血球、脾臓、脳、脊髄、卵巣、胎盤で高発現する。高内皮細胞 (HEV) および白血球で発現する。、

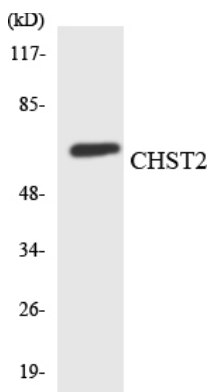
## 研究分野

ケラタン硫酸の生合成;

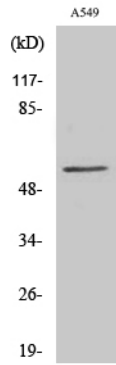
## 画像データ



CHST2 抗体を用いた A549 細胞、COLO 細胞、および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CHST2 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CHST2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析